

第50回藤沢市地産地消推進協議会議事録

- 1 日 時 2022年（令和4年）1月24日（月）
午後2時～午後3時40分
- 2 場 所 藤沢市役所本庁舎8階 8-1, 8-2会議室
- 3 出席者 (1) 委員 16人
 - ア 会場での参加
北会長、高橋副会長、湯澤委員、金井委員
山崎委員、林委員、太田委員、西委員
友田委員、佐藤委員
 - イ オンラインでの参加
大矢委員、北村委員、大嶋委員、山田委員
青柳委員、齋藤委員(2) 事務局 10人
中山経済部長
(産業労働課)
饗庭課長
(農業水産課)
及川課長、安部川課長補佐、鈴木課長補佐、
福岡上級主査、中村主査、重森主任、志村主任、原主任
相原主任、三本職員
- 4 傍聴者 なし

【第50回藤沢市地産地消推進協議会】

事務局
(安部川)

それでは、定刻となりましたので、ただいまから第50回藤沢市地産地消推進協議会を開催させていただきます。

本日司会を務めます農業水産課の安部川と申します。

よろしくお願いいたします。

なお、本会議につきましては、新型コロナウイルス感染症対策として、会場とオンラインでの参加を併せて会議を開催させていただきます。

○会議中についてのお願いになります。

- ・換気のため、ドアを開放させていただきます。
- ・マスクについては、会議中においても着用していただきますようお願いいたします。
- ・マイクについては、その都度、除菌させていただきます。

○次に、会議中のご発言についてでございますが、会場の方につきましては、挙手をしていただき、事務局職員がマイクをお届けしますので、マイクを使って名前を名乗っていただいてからご発言くださいますようお願いいたします。

オンラインでの参加の方につきましては、zoomの「手を挙げる」機能を使用していただきますようお願いいたします。なお、発言の際はゆっくり、はっきりと発言していただきますようお願いいたします。

本日の会議につきましては、19名の協議会委員の内、オンラインでの参加者4名 会場10名、合計14名の方が出席しております。藤沢市地産地消推進協議会規則第5条に規定する会議成立要件の過半数を超え、会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。

また、本日ご都合により欠席の方がございますのでご報告いたします。

- ・ 藤沢市畜産会から選出の和田委員
- ・ 藤沢市漁業協同組合から選出の葉山委員
- ・ 藤沢市立小学校長会から選出の加瀬委員

となっております。

なお、横浜丸中青果株式会社湘南支社から選出の山田委員につきましては、Zoomにて遅れて参加する旨のご連絡を事前にいただいております。

あと、大島委員がZoomにて参加ということで、今おそらくこれから繋がってくるかと思っておりますので、よろしくお願いたします。

それでは、この度、委員の改選となりますので、ご紹介をさせていただきます。

本日は、この藤沢市地産地消推進協議会の委員としてご就任いただく皆様に、鈴木市長から委嘱状を交付させていただきたいと存じます。

それでは、順にお名前を読み上げさせていただきますので、どうぞその場でご起立をお願いいたします。

なお、オンラインでの参加との方につきましては、最後にお名前を読み上げさせていただきたいと思っております。

委嘱状につきましては後日お渡しをさせていただきます。

それではお名前を読み上げさせていただきます

- ① 北 宜裕 様 (きた のぶひろ)
- ② 高橋 弘 様 (たかはし ひろし)
- ③ 湯澤 与志雄 様 (ゆざわ よしお)
- ④ 金井 純雄 様 (かない すみお)
- ⑤ 山崎 俊輔 様 (やまざき しゅんすけ)
- ⑥ 林 亜耶 様 (はやし あや)
- ⑦ 太田 百合子 様 (おおた ゆりこ)
- ⑧ 西 智 様 (にし さとし)
- ⑨ 友田 宗也 様 (ともだ そうや)
- ⑩ 佐藤 剛志 様 (さとう たかし)

それではズームの方につきまして、お名前を読み上げさせていただきます。

- ⑪ 大矢 享伸 様 (おおや たかのぶ)
- ⑫ 北村 治之 様 (きたむら はるゆき)
- ⑬ 大嶋 洋一 様 (おおしま よういち)
- ⑭ 青柳 清美 様 (あおやぎ きよみ)
- ⑮ 齋藤 まどか 様 (さいとう まどか)

事務局
(安部川)
鈴木市長

それでは鈴木市長からご挨拶を申し上げます。

皆様こんにちは、市長の鈴木でございます。

本日は大変お忙しいところ、こちらの方にご参加、またZoomでのご参加ありがとうございます。

今回は第7期の藤沢市地産地消推進協議会委員をお引き受けいただきまして誠にありがとうございます。一つよろしくどうぞお願いいたします。

さて、藤沢市は今大河ドラマが行われておりますけれど、鎌倉殿の13人ということでいろいろとゆかりの人物が登場しております。先週今週と大庭影親が登場して、大庭の魅力も感じていただいているかと思えます。またその大庭の農産物がございまして、また藤沢では、大きな相模湾が真ん中に位置しております、水産物もまた豊富であります。そういった魅力も発信できたらいいなと思っているところでございます。

そして、本市の農業や水産業の魅力も大きな藤沢の魅力であると思えます。いろいろなところで、皆さんと協力しながらさらにそれを活かしたまちづくりができていければいいなと想いがありますので、皆様からご意見をいただきましてそういったことができるように進めていければと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

事務局
(安部川) ありがとうございます。ここで鈴木市長につきましては、公務の都合により退席とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは続きまして、次第3の「委員自己紹介」になりますが、次第の裏面に藤沢市地産地消推進協議会の第7期委員名簿を載せております。番号順に自己紹介をお願いしたいと思います。それでは、北委員からよろしくお願いいたします。

北委員 ご紹介いただきました北でございます。
日本大学生物資源科学部で植物医科学の研究をしております。実は、この3月で定年退職となりますので第5期の計画が完成するまでお引き受けさせていただきました。本当に短い期間ですけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局
(安部川) 高橋委員お願いいたします。

高橋委員 ご紹介いただきましたさがみ農業協同組合の運営委員会の委員長を仰せつかっております高橋でございます。
あと私の方もあと1年ということでございますが皆さんと地産地消について農業の方も一生懸命にやって皆さんと一緒に地産地消を盛り上げていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

事務局
(安部川) 湯澤委員お願いいたします。

湯澤委員 湯澤です。名簿にさがみ農業協同組合藤沢市農業経営士協議会とありますが、農協の組織とは違うもので神奈川県農業経営士の藤沢支部というような形をとっております。事務局を農協

におかせていただいておりますのでさがみ農業協同組合藤沢市農業経営士協議会と記載しております。私は農業者の代表みたいなものです。うちでは花を作っています。しかし私の組織では藤沢市の農業全般、野菜もあれば果樹もいる畜産もいれば花もいるというような組織の代表であります。2期4年間つとめましてこの4月で人の入れ替えとなっておりますのでその際はよろしく願いいたします。

事務局 大矢委員お願いいたします。

(安部川)

大矢委員 さがみ農協のファーマーズマーケットわいわい市藤沢店の大矢です。よろしく願いいたします。私もいろんな角度からですね、藤沢市の地産地消を盛り上げていけたらと思っておりますのでよろしく願いいたします。

事務局 それでは引き続き北村委員お願いいたします。

(安部川)

北村委員聞こえますでしょうか？

すみません、ちょっと北村委員に今繋がらないみたいですので、すみません先に大島委員お願いできますでしょうか？

大島委員

皆さんこんにちは。聞こえますか。はい。藤沢商工会議所の大島でございます。どうぞよろしくお願いいたします。商工会議所の方ではですね、イベントを通して、特に産業フェスタなんですけども、地産地消ということで、いろいろ皆様にもご協力いただいております。またこれとは別にですね、名産品協議会というものがございまして、藤沢のお土産品とか名産品いろいろPRということで、実は今回ですね、長野県の信濃、そこで名産品のPRということで通信販売の記事、2面使っ

てやってるってことで結構問い合わせ等があります地産地消と
いうことですので、できるだけPRをしていきたいと思いたすの
でどうぞよろしくお願いたします。

事務局 金井委員お願いたします。

(安部川)

金井委員 藤沢市商店会連合会の金井と申します。

やはり商店会のお店というのは消費者に一番近いというところ
ですので地産地消とは密接に関わっておりますので、ぜひご協
力させていただいて地産地消に貢献していきたいと思いたすの
でよろしくお願いたします。

事務局 山崎委員お願いたします。

(安部川)

山崎委員 一般社団法人藤沢青年会議所の山崎と申します。

私たちは青少年事業だったりとかまちづくりに関わっておりま
す。昨年度コロナ禍ということもありなかなか事業が思うよう
にいきませんでした。がしっかりと前を向いて活動していきたい
と思いたす。2年間という期間ですが地産地消に協力していき
たいと思いたすのでよろしくお願いたします。

事務局 それでは青柳委員お願いたします。

(安部川)

青柳委員 藤沢市食生活改善推進団体、四つ葉会の青柳と申します。

私達は料理教室を通して市民の方に伝達する事業をしておりま
すがこのような状況の中でできることをやっていきたいと思
っております。今年度もよろしくお願いたします。

事務局
(安部川)
林委員

林委員お願いいたします。
林亜耶と申します。市民公募で2期連続努めさせていただくことになりました。2年であらゆる状況を少しずつ把握することができますので、これからの2年はより具体的な部分に触れていけたらと思っています。普段はフードコーディネーターをしております。プライベートでは去年初めてこどもを出産しまして今9ヵ月になりますが育児奮闘中です。よろしくお願いいたします。

事務局
(安部川)
太田委員

太田委員お願いいたします。
みなさまはじめまして。
市民公募で申し込みしました太田百合子と申します。
私は神奈川県都市農業推進審議会委員を3月までつとめております。
16年前に野菜ソムリエの資格をとりまして自宅で料理教室を行っています。あと、野菜の魅力を伝えるためにながわブランドのお手伝いをさせていただいています。
藤沢市の地産地消で何かお役に立てればと思います。よろしく
お願いいたします。

事務局
(安部川)
齋藤委員

それでは齋藤委員お願いいたします。
齋藤まどかと申します。よろしくお願いいたします。
子供3人を育てている主婦です。消費者代表として率直な意見を今後言わせていただければと思っています。
これから育っていく子供たちにより良い環境を残してあげたい

という思いから今回応募させていただきました。これから頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

申し訳ありません。最後に一点ちょっとぜひ聞こえにくいところがございます、もし可能でしたらお話される方マイクを持っていただけると助かります。申し訳ございません。

事務局
(安部川)

西委員、お願いいたします。
みなさま、こんにちは。藤沢市議会の建設経済常任委員会の方で委員長として地産地消の委員として選ばれております西智と申します。建設経済常任委員会の委員長としての任期が4月いっぱいということでまた変わりますので、短い間なんですけれどもよろしくお願いいたします。

プライベートなんですけれども、去年、空き地に畑を借りまして、子供たちと一緒に畑を耕して、児童クラブの子供たちですがそこで種を植えて育てて、おやつとして野菜を食べるというようなことを行っています。本当に農業って難しいと感じております。農業の奥深さとその難しさを感じつつ、こどもたちと一緒に育てる喜び、食べる喜びを一緒に感じています。できれば今後も続けていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

事務局
(安部川)

友田委員、お願いいたします。
はじめまして、建設経済常任委員会で副委員長をしております友田宗也です。

私は議員になって今3期目ではありますがけれども、飲食店を15年ほどずっとやってまいりましたので、どちらかと言います

と、今の飲食店さんの非常に苦しい立場というところを理解して、昨年もそういった形で農業水産課にもいろいろ相談をさせていただいた経緯がございます。まだまだコロナ禍ということで地産地消の利用推進店さんの今後の取り組みについて議論を深めていただければなと思っております。よろしくお願いいたします。

事務局 佐藤委員、よろしくお願いいたします。

(安部川)

佐藤委員 皆さんこんにちは。

平塚にあります、神奈川県湘南地域県政総合センター地域農政推進課の課長の佐藤と申します。よろしくお願いいたします。コロナがまたオミクロン株を出してざわざわしていますが、この間家族とも話したんですけど美味しいものを食べて、免疫を上げる。ワクチンもちろん大事だと思いますが、そもそも体を健康にするというのは食生活が大事なのかなと思います。というところでやっぱり地産地消ということで、自分がその生活してるところのものを食べるっていうのが体にいいというのを聞いたことがあります。こういう取り組みを通じて、今後農業も水産業も畜産業も原油が高くなったり、国際情勢で不安定で、感染症とかで苦しい状況ですが、こういう時ににぎやかに地産地消を展開していくことが、本当に大事なところかと思えます。こういう委員にさせていただいて非常に嬉しく思います。たまたま藤沢市民でもありますので、県としても応援してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは事務局の紹介をさせていただきます。

(安部川)

中山部長

皆さんこんにちは。今日はご出席いただきましてありがとうございます。
ございます。

経済部長の中山でございます。よろしくお願いいたします。

事務局一同

皆さんこんにちは、産業労働課の饗庭と申します。私どもの課は、商業工業と労働行政の担当をしておりますが、農政にも関わりが深いということで参加しております。

皆さんこんにちは。農業水産課の及川と申します。昨年の4月に農業水産課長になりまして、地産地消を先頭にたって行うということでなりましたので、またこれからよろしくお願いいたします。

皆様こんにちは。農業水産課課長補佐の鈴木と申しますどうぞよろしくお願いいたします。

皆様こんにちは。農業水産課の福岡と申します。地産地消の担当をしております。どうぞよろしくお願いいたします。

こんにちは。農業水産課の重森と申します。担当としましては、藤沢産利用推進店やおいしい藤沢さんのホームページ、地産地消のアンケートということで地産地消に関わっております。よろしくお願いいたします。

皆さんこんにちは農業水産課の中村と申します。私の方は学校給食部会の担当をしております。よろしくお願いいたします。

皆様こんにちは。農業水産課の相原と申します。よろしくお願いいたします。部会は学校給食の担当をしております。

皆さんこんにちは、農業水産課の原と申しますお花の担当、新規就農者の担当と、地産地消では需要拡大の担当をさせていただいております。よろしくお願いいたします。

皆様こんにちは、農業生産から三本と申します。よろしくお願いいたします。

私は課長補佐の安部川と申しますよろしくお願いいたします。

事務局
(安部川) それではちょっと先ほど北村委員と繋がりませんでしたのでもう1回ちょっと北村委員の方を呼びかけさせていただきます北村委員聞こえますでしょうか？

北村委員 失礼しました。江の島片瀬漁協の北村です。

事務局
(安部川) そうしましたらご自己紹介の方をお願いできますでしょうか？

北村委員 江の島片瀬漁協の組合長の北村と申します。直売所およびマルシェ等、通じて皆様に美味しい魚を食べていただこうと思って日々、活動しております。よろしくお願ひいたします。

事務局
(安部川) ありがとうございます。あと横浜丸中青果の山田委員もご参加いただけてるみたいですよ。山田委員聞こえますでしょうか？

山田委員 はいすいません。遅れまして、丸中青果株式会社湘南支社山中です。よろしくお願ひいたします。

3 正副会長の選出

事務局
(安部川) それでは、次に次第4「正副会長の選出」になりますが、藤沢市地産地消推進協議会規則の規定により、正副会長を選出いただくことになりますが、正副会長が選出されるまで中山経済部長に座長をお願いいたします。

中山部長よろしくお願ひいたします。

中山部長 経済部長の中山でございます。しばらくの間、座長を務めさせていただきます。それでは、これから正副会長の選出をお願いいたします。

正副会長については、協議会規則第4条により、委員の互選によりこれを定めるとされております。会長を選任したいと思います。みなさまご意見はございますでしょうか。

金井委員	座長
中山部長	金井委員お願いいたします。
金井委員	会長については、今までも「日本大学生物資源科学部」より選出されておりました北委員にお願いをしておりましたので、再度北委員にお願いをしたいと考えますが、いかがでしょうか。
委員	異議なしの発声
中山部長	はい。ありがとうございます。ただいま金井委員から北委員に会長をお願いしたいというご発言がございましたけどいかがで ございますでしょうか。 はい。ありがとうございます。皆様からご意見はございませんので、会員に会長をお願いしたいと存じます。北会長につきま しては会長席に移動をお願いして、就任のご挨拶をお願いしたい と思います。よろしくお願いいたします。
北会長	改めまして皆さんこんにちは。 日本大学生物資源科学部の北でございます 今回会長を仰せつかりまして、緊張しております。 これまでは2年ほど第4期の事業実施についていろいろ検討させて いただきました。それで皆さんご存知のようにコロナ禍で、 当初の計画を大幅に見直していかなければいけない。しかしな がら、その中でも非常に知恵を出して、バッグ作ったりマスク 作ったり、いろいろアプローチをして、何とかここをしのいで きたなっていう感じがします。 これから第5期の計画を作るわけですがけれども、その中でやは

りポストコロナを見据えた新たな、地産地消の取り組みそれが
必要だと思います。それについて、ぜひご検討をいただければ
と思います。どうぞよろしく願いいたします。

中山部長 ありがとうございます。
それでは続きまして、副会長の選任につきましても委員の互選
になりますがご意見いかがでしょうか。

金井委員 座長

中山部長 金井委員お願いします。

金井委員 副会長についても、今までも「さがみ農業協同組合藤沢地区運
営委員会事務局」より選出されておりました高橋委員にお願いを
しておりましたので、再度高橋委員にお願いをしたいと考えませ
が、いかがでしょうか。

中山部長 ありがとうございます。ただいま、金井委員より「高橋委員に副
会長をお願いします」というご発言がございましたが、いかがで
しょうか

委員 異議なしの発声

中山部長 ご異議がありませんでしたので、高橋委員に副会長をお願いし
たいと存じます。高橋副会長につきましては、副会長の席へ移
動していただき、就任のご挨拶をお願いいたします。

高橋委員 皆さんこんにちは。
改めてご推薦いただき、ありがとうございます。
これから北会長を補佐しながら地産地消を盛り上げていきたい

と思います。皆様のご協力をお願いいたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

中山部長

ありがとうございました。
正副会長が選出されましたので、これで座長の任を解かさせていただきます。この後の進行は再び事務局にお願いします。

2 議事録の確認

安部川補佐

はい。それではですね、次第5議事録の確認に移らせていただきます。第49回、藤沢市地産地消推進協議会の議事録を既に送付しておりますが、修正箇所等はございますでしょうか？

退任された委員のうちですね、前回の会議に出席されていた方にも議事録を送付しておりますが、修正等のご意見はいただいておりますことをご報告させていただきます。

よろしいでしょうか。それでは、修正が無いようですので、第49回藤沢市地産地消推進協議会の議事録を確定させていただきます。なお、議事録につきましては、市民相談情報課に提出をして、市民の閲覧の対象となりますので、ご承知おきください。

次に、本日の議題に入ります前に、まずお手元の資料の確認をさせていただきます。

事前に送付させていただいている資料として、

- ① 次第（裏面は名簿）
- ② 資料1 「藤沢産利用推進店認定状況について」
- ③ 資料2 藤沢市地産地消推進計画改定スケジュールについて
- ④ 資料3 第5期藤沢市地産地消推進計画（案）に関するパブリックコメント実施結果について
- ⑤ 資料4 令和3年12月藤沢市議会定例会建設経済常任委

員会における報告について

⑥資料5 第5期藤沢市地産地消推進計画（最終案）

⑦資料6 令和3年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会事業計画書 2022年（令和4年）1月24日時点

⑧資料7-1 令和3年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会収支予算書 2022年（令和4年）1月24日時点

⑨資料7-2 令和3年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会収支予算内訳（2022年（令和4年）1月24日時点執行状況

事前にお送りさせていただいている資料といたしましては、九つとなっております。不足はございませんでしょうか？

また本日、会場にお越しの方につきましては、後でちょっとご説明させていただくんですが、A4のデザイン案というものを、机の上に配布させていただいております。Zoomの方につきましては後でご覧になっていただくような形になりますので、よろしくお願いたします。

なお、机の上に閲覧用として第4期藤沢市地産地消推進計画を置かせていただいておりますので、必要なときにご覧いただきますようお願いいたします。

また、本日の会議につきましては全て議題を公開としておりましたが、傍聴者はおりませんでしたことをご報告させていただきます。

それではここからの進行につきましては、北会長にお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

5 議 題

北会長

それでは、早速、議題に入らせていただきますが、本日の会議の記録を作成する関係上、発言内容を録音させていただいておりますので、あらかじめご了承をお願いいたします。

なお、ご発言される委員には、職員がマイクをお届けしますので、マイクを使って名前を名乗っていただいてからご発言くださいますようご協力をお願いいたします。

オンラインでの参加の方につきましては、zoomの「手を挙げる」機能を使用させていただきますようお願いいたします。

それでは、「議題（1）藤沢産利用推進店の進捗状況について」、事務局から説明をお願いいたします。

事務局
(重森)

農業水産課重森でございます。着座にてご説明させていただきます。

まず「1 藤沢産利用推進店の認定について」でございます。藤沢産利用推進店の新規・更新の申請につきまして、藤沢産利用推進店認定要綱に基づき、認定審査会を開催いたしました。

新規の店舗数は2の審査会日程を、店舗の詳細については表をご確認ください。

次に、4ページ「3 登録店舗数及び廃止について」です。

こちらの表は、11月24日現在の登録店舗数を反映させたものでございます。表の一番右の欄、一番下の年度末登録数をご覧ください。11月24日現在の登録店舗数は、ひとキュン66店舗、ふたキュン33店舗の、合計99店舗でございます。

5ページに移ります。こちらは、年度末登録数と新規登録数をグラフにしたものと、登録ランク数の割合をグラフにしたものでございます。数字のとおりですので、ご説明は割愛させていただきます。

続きまして、6ページをご覧ください。こちらは、今年度の廃止店舗について記載しております。店舗の閉店が1店舗、休業が4店舗、閉店・休業以外での理由での取消が海の家を含め11店舗でございます。詳細は一覧のとおりですので、割愛させていただきます。

7ページ以降は、11月24日現在の登録店舗一覧でございますので、ご確認をお願いいたします。

ご説明は以上でございます。

北会長

はい、ありがとうございます。新しい委員の方もいらっしゃいますので藤沢産利用推進店のランクについてご説明をお願いいたします。

事務局
(重森)

失礼いたしました。藤沢産利用推進店にはひときゅんとふたきゅんというランク付けをしております。ふたきゅんの方がひときゅんよりも多く、藤沢産の食材を使っているお店になって

います。ひときゅんは常時、1年間で1品目以上、藤沢産食材を使っていただければ、認定されまして、ふたきゅんは常時3品目以上、かつ季節もの入れ替わりがあると思いますので年間10品目以上使っているといふとふたきゅんとして認定しています。以上でございます。

北会長 それでは、何かご質問等ございましたらお願いいたします。
それでは湯澤委員どうぞ。

湯澤委員 6ページの廃止の店舗の中で、取消と休業があると思うんですけども、廃止理由の中に休業の場合、藤沢産の食材を使わなくなったという理由があるんですけども、藤沢産は使わなくなった理由というのは、何か原因があるのか教えてほしい。

北会長 事務局の方いかがでしょうか。

事務局 コロナ禍の中でそもそも藤沢産の食材を仕入れるのをやめてしまったというお話を聞いております。

湯澤委員 お店を休んでしまったとうのはわかるのですが、取り消しというのは藤沢産を使わなくなったというので取り消しだと思う。他の食材は使っているけど、藤沢産は使わなくなったということで取り消しになったと思う。その辺の理由がわかれば教えてほしい。

及川課長 全ての店舗の理由を把握しているわけではないのですが、グリルハウスグリーンさんは、全く藤沢産をつかってないというわけではないのですが、極めて使う頻度が低いので自ら辞退させ

ていただくということでございました。

中村屋羊羹店につきましては、トマトプリンとかトマトの恋といったお菓子の原料にトマトのピューレを使わなくなったからと推測しております。

つるへいにつきましては、どういう状況か把握しておりません。

北会長 湯澤委員よろしいでしょうか

湯澤委員 はい。大丈夫です。

北会長 できればフォローをお願いいたします。
他にいかがでしょうか。Zoomの方もよろしいでしょうか。

北会長 それでは、「議題（２）第５期藤沢市地産地消推進計画（最終案）について」、事務局から説明をお願いいたします。

事務局
(安部川) 「議題（２）第５期藤沢市地産地消推進計画（最終案）について」ご説明申し上げます。着座にて説明させていただきます。

はじめに、資料２をご覧ください。

こちらは、計画改定のスケジュールとなっております。年度当初の協議会でご説明をしておりますが、１１月に協議会委員が改選されておりますので、計画改定の経過についてご説明申し上げます。

藤沢市地産地消推進計画につきましては、平成２１年９月議会において、議員提案による「藤沢市地産地消の推進に関する

条例」の制定に基づいて、平成22年6月に策定がされ、その後、3年ごとの改定を経て、現在第4期計画の最終年度を迎えております。計画の改定にあたり、令和3年8月と10月の当協議会での協議を踏まえて、第5期計画（案）を策定し、令和3年12月藤沢市議会定例会建設経済常任委員会において、第5期計画（案）の報告を行いました。その後、市民の皆様の意見や提案を本計画に反映させることを目的に、12月3日から1月4日までの期間でパブリックコメントを実施いたしました。パブリックコメントにつきましては、2月1日から提出いただいたご意見等の概要と市の考え方を公表する予定でございます。

なお、今後のスケジュールでございますが、本日の協議会のご意見を踏まえて、第5期計画（最終案）を策定し、令和4年2月藤沢市議会定例会建設経済常任委員会に報告を行うこととなります。その後、議会で出た意見を踏まえ、3月中に、第5期計画を策定し、製本、4月から計画の周知を実施する予定でございます。協議会の皆様には、3月に開催予定の協議会で報告をさせていただくこととなります。

続きまして、資料3をご覧ください。

こちらにつきましては、パブリックコメントの実施結果となります。

はじめに、「1 パブリックコメントの実施概要」でございますが、実施概要につきましては、ご覧のとおりでございます。

次に、「2 意見等の提出状況について」でございますが、意見等の提出者が2人で、意見等の件数が4件となっております。意見等の計画への反映状況でございますが、4件とも今後の取組の参考とさせていただくことにしております。

2 ページにお移りいただきまして、提出された意見と市の考え方についてでございますが、一つ目の意見等の概要は、「全国的にもオーガニック給食が少しずつ進んでいる。オーガニック給食までは届かなくても、有機野菜を給食に使っていくことは、藤沢市の子どもたちの食について考えを深める機会と有機野菜の地産地消の取り組みにつながっていくと思う。有機野菜を学校給食に取り入れていくことを要望します。」という意見がありました。この意見に対する市の考え方は、「地産地消を推進するため、慣行栽培及び有機栽培による農産物の区別なく、学校給食における藤沢産農産物の利用品目の拡大及び供給量の増加に努めています。現在、有機栽培の農産物として、あいがも米が学校給食で提供されていますが、第5期計画では、第5章の重点的に取り組む施策の「藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化」の中で、有機栽培による農産物を含めた藤沢産農産物の更なる供給拡大について検討してまいります。」としております。

次に2つ目の意見等の概要は、「アンケート結果を見て、多くの藤沢市民が地産地消推進について関心を持ち、地元産の農水産物を購入したいと思っていることが分かるが、現状では市民の手に充分届いていないという意見が多いように思います。小売店で大々的に地元産の商品を扱うことが難しく、改善ができないのであれば、小売店で扱う以外の方法で消費者に届ける方法を考える必要があると思います。既に購入意思のある消費者に届けるためのフローの作成に取り組むことを希望します。」という意見がありました。意見に対する市の考え方は、「藤沢産農水産物の購入については、量販店での藤沢産コーナー設置の取組を進めるほか、市役所本庁舎やイベントにおける販売を行い、身近な場所で購入できるよう取組を進めていま

す。第5期計画では、第5章の長期的に取り組む施策の「藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化」の中で、量販店での藤沢産農水産物の取扱量の増加等について検討してまいります。また、藤沢産農水産物の小売店以外での新たな購入方法については、藤沢市地産地消推進協議会等の意見を踏まえ検討してまいります。」としております。

3つ目の意見等の概要でございますが、「多くの世代に効率よく情報を届けるには、LINEのプッシュ通知や携帯のアプリを利用することが効果的ではないか。」という意見がありました。意見に対する市の考え方は、「藤沢産農水産物の情報提供については、地産地消の独自のウェブサイトである「おいしい藤沢産」ホームページやフェイスブック等により行っています。第5期計画では、第5章の長期的に取り組む施策の「藤沢産農水産物等のおいしい・旬の普及啓発・情報提供」の中で、LINE等を活用した新たな周知方法について検討してまいります。」としております。

4つ目の意見等の概要は、「地産地消の弊害となっているのは、生産者側の問題点もあるため、可能な限り、多くの生産者側の意見を聞き、貴重な担い手や生産環境を守っていくことも重要だと考えます。直売をメインで行っている小規模生産者の中には販売場所の問題点を抱えているなど、短期的に解決できる問題点を抱えている場合もあるため、小規模生産者の直面する問題の洗い出しに取り組むことを希望します。」という意見がありました。意見に対する市の考え方は、「農産物の販売場所の課題については、市役所本庁舎やイベントにおいて販売する機会を設けています。また、農業への新規参入者に対する生産面の技術指導や規模拡大などの要望については、市やJA、神奈川県農業技術センターなどがフォローアップを行っており

ます。今後につきましても、生産者が直面している課題の把握に努め、その課題の解決に向けて、関係機関と連携して取り組んでまいります。」としております。

パブリックコメントにつきましては、以上となります。

続きまして、資料4をご覧ください。

こちらにつきましては、令和3年12月藤沢市市議会定例会建設経済常任委員会に報告した際の質疑と答弁内容となります。

「未利用魚について」や「藤沢産利用推進店について」、「農水産業の体験について」「GAPについて」「担い手の確保について」「テクノロジーの導入について」などのご意見をいただきましたが、計画の内容の修正等はしておりません。詳細につきましては、ご確認いただきますようお願いいたします。

最後に、資料5をご覧ください。第5期計画の最終案となります。

10月18日に開催した協議会でお示しさせていただきました第5期計画（案）から修正した箇所に網掛けをしております。こちらのほとんどの箇所につきましては、議会報告やパブリックコメントを実施する前に修正をしております。本日は、主な変更点についてご説明申し上げます。

- ・記載している数値につきましては、最新の数値に変更をしております。

- ・内容に変更が生じない程度の文言・文書の表現の修正をしております。

- ・用語解説についても、一部追加しております。

- ・41ページ、49ページに、該当するSDGsのアイコンを追加いたしました。

・最後に、100ページの協議会委員名簿でございますが、計画の変更に関わっていただいた委員を記載しており、100ページに第6期委員を記載しておりましたが、今回、101ページに第7期委員を追加いたしました。

以上で、「議題（2）第5期藤沢市地産地消推進計画（最終案）について」に関するご説明を終わらせていただきます。よろしくお願いたします。

北会長

ありがとうございました。ボリュームある資料を端的に説明していただきました。まず、資料2についてご質問等いかがでしょうか。よろしいでしょうか。次に資料3はいかがでしょう。Zoomの方、市民公募の方いかがでしょうか。特になしでよろしいでしょうか。

それでは、これまで地産地消計画の改定が3年に1回でしたが、今回から5年に1回となることは新しい委員の皆様につたわっておりますでしょうか。

事務局
(安部川)

すいません、特にそこは伝わっておりません。この計画の期間ですが、第4期計画までにつきましては3年間の計画ということにしておりました。第5期計画につきましては3年を5年間に伸ばすということですが、重点的に取り組む施策の中で、新たな1次製品の創出というようなちょっと時間がかかるといった時間をかけて次に取り組んでいかなきゃいけない内容等もございますので、第5期計画につきましては、計画の期間を3年から5年間と変更させていただいております。

北会長

はい。ということで委員の皆様よろしいでしょうか。

それでは、2月の議会の最終報告として第5期藤沢市地産地消推進計画の最終案とさせていただきます。なお、数字等の軽微

な修正につきましては事務局に一任とさせていただきますので
ご承知のほうお願いいたします。

北会長 次に、「議題（３）その他」になりますが、委員の皆様、事務局
から何かありますでしょうか。

北会長 以上をもちまして藤沢市地産地消推進協議会の本日予定して
いた議題はすべて終了いたしました。それでは、進行を事務局
にお返しいたします。

安部川補佐 ありがとうございます。
これをもちまして第50回藤沢市地産地消推進協議会を閉会
とさせていただきます。

令和3年度第2回藤沢市地産地消推進事業実行委員会

1 開会

安部川補佐 引き続き、令和3年度第2回藤沢市地産地消推進事業実行委員
会に移らせていただきたいと思います。

この実行委員会は、市民の方に「藤沢産」農水産物の旬のおい
しさ、魅力を伝え、市内農水産業の理解を深めるための地産地消
推進事業を実施する会で協議会の委員で構成されております。な
お、市議会選出の西委員と友田委員はこの実行委員会ではオブザ
ーバーとして会議に参加することとなります。

2 委員長の選出

安部川補佐 それでは、続きまして次第2「正副委員長、会計、幹事の選出」
についてでございます。委員長については、規約により、委員の
互選によりこれを定めるとされております。会長を選任したいと
思いますがご意見等ございますでしょうか。

金井委員 商店会連合会の金井です。委員長については、今までも「日本
大学生物資源科学部」より選出されておりました北委員にお願い

	をしておりましたので、大変恐縮ですが再度北委員にお願いをしたいと考えますが、いかがでしょうか。
安部川補佐	ただいま、金井委員より北委員を委員長にとのご発言でございますが、いかがでしょうか。
委員	異議なしの発声
安部川補佐	それでは、ご異議がございませんでしたので北委員に委員長をお願いしたいと存じます。
安部川補佐	それでは、引き続き副委員長、会計、監事の選出になります。規約により委員長が指名することとなります。 北委員長にご指名をお願いいたします。
北委員長	副委員長には、今までも高橋委員にお願いをしておりましたので、再度高橋委員にお願いしたいと存じます。いかがでしょうか。また、会計には大矢委員、監事には山田委員にお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。
北委員長	山田委員いかがでしょうか。
山田委員	はい、大丈夫です。
北委員長	大矢委員いかがでしょうか。
大矢委員	はい、大丈夫です。
北委員長	ありがとうございます。よろしく願いいたします。
安部川補佐	それでは今高橋委員を副委員長、大矢委員に会計を山田委員に監事ということで皆様のご承認をいただきましたので、よろしくお願い致します。

安部川補佐 それでは、令和3年度第2回藤沢市地産地消推進事業実行委員会を開催させていただきます。ここからの進行につきましては、北委員長お願いいたします。

北委員長 承知しました。それでは、「議題（1）藤沢市地産地消推進事業実行委員会事業進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。

事務局
(福岡) 農業水産課福岡です。議題1についてご説明いたします。着座にて失礼いたします。

資料の6になります。事業の概要といたしましては、平成31年4月から第4期藤沢市地産地消推進計画がスタートし、今年度は3年目で最終年度となります。今まで続けてきた藤沢産農水産物の旬のおいしさ、魅力を市民に伝え、市内流通の促進、藤沢産農水産物の知識・理解を深め地産地消の推進を図ることについて、今年度も継続するものです。

事業としては、第4期藤沢市地産地消推進計画の重点的に取り組む施策である「藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化」「藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化」「地産地消の普及啓発・健康施策との連携強化」3つの施策を中心に実施するものです。

具体的な事業については、次にご説明いたします。

2地産地消実行委員会の予算を伴う事業についてでございます。

(1) イベントへの参画・実施のところで、アの地産地消イベント事業 みなと春まつり～藤沢産をまるごといただきますになります。

本イベントは、農畜水産物の販売、魚や畜産とのふれあい、藤沢産利用推進店による飲食ブースを設け、農・畜・水を一体

としたイベントを開催し、藤沢産農水産物に対する理解を深めるとともに、地産地消の推進を図ることを目的として実施するものです。実施時期につきましては2022年（令和4年）3月13日を予定しております。開催場所は片瀬漁港、市民交流広場を予定しております。

現在、まん延防止等重点措置がとられ、新型コロナウイルス感染症が拡大していることから、魚や畜産のふれあいといったイベントや飲食ブースの設置はとりやめ、マルシェのような物販のみの開催を考えております。

また、今後の感染状況や緊急事態宣言のような制限がかかる場合は、開催の中止も検討させていただき、会長とも相談してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。続きまして、藤沢元気バザール等を地産地消イベント事業でございます。こちらは2018年6月から毎月第2土曜日に、サンパール広場において、市内の新規就農者及び農業後継者による農産物の販売「ふじさわ元気バザール～藤沢野菜市～」を開催しているものです。この取り組みは、新規就農者等の定着促進と藤沢産農水産物のPRを目的として、藤沢商工会議所と市の産業労働課、農業水産課が連携して実施している事業です。このイベントの中で、実行委員会も連携し、野菜等の販売と併せて藤沢産農水産物のPRを行っています。

昨年の10月9日（土）15時～17時でエコバックを持参して藤沢野菜市で購入していただいた方、先着200名様に藤沢産ビオラを配布するとともに「おいしい藤沢産ホームページのチラシ」を配布しました。

続きまして（イ）地産地消弁当販売事業でございます。（元気バザールでの新米配布代替事業）11月15日（月）～11月30日（火）までの月曜日から金曜日まで（祝日は除く）各

日 11時～14時までの3時間で市役所サンセット広場にて藤沢産利用推進店テイクアウト部会連絡協議会と連携して藤沢産新米（品種：はるみ）及び農水産物等を使用した弁当販売を実施いたしました。こちらは、以前は、元気バザールにて新米はるみ300gを先着200名の方に配布しておりましたが、藤沢産利用推進店テイクアウト部会連絡協議会の要望を受けて実行委員会と連携してお弁当販売を実施したものです。

ウの花育体験イベント事業です。こちらが12月4日（土）にサンライズ広場にて実施したものです。

子どもを対象に花の寄せ植え体験を実施し、寄せ植え体験と生産者との交流を通じて、藤沢の花きに対する知識や理解を深めてもらうことにより地産地消の推進を図りました。

23ページに参りまして、（2）藤沢産農水産物の普及啓発です。ア PR用ミニのぼり旗等の作成

藤沢産農水産物の需要拡大及び旬の農水産物のPRのため、わいわい市や量販店等において写真のような「藤沢産」のミニのぼり旗を設置しました。

続きまして、イ 「藤沢産」ロゴマークシール（QRコード付）の作成

現在、無償配布を行っている「藤沢産」ロゴマークシールの周りに令和3年8月にリニューアルした「おいしい藤沢産～見て楽しい！食べて楽しい！キュンとする藤沢産[🍷]」ホームページのQRコードを載せ、それを読み取った消費者に対して藤沢産農水産物に関する情報を発信することで地産地消の普及啓発を図っています。写真が実際のシールで赤、紫、オレンジ、緑の4色がございます。

4ページにまいりまして、ウ 藤沢産利用推進店PR用「食べ歩きマップ」の作成です。2月に作成を予定しております

「食べ歩きマップ（日本語版）」を作成し、藤沢市内のホテル等に配架してもらい、藤沢産利用推進店のPRを行うものです。マップの作成エリアといたしましては藤沢駅周辺、片瀬江ノ島駅・鵜沼海岸駅周辺を予定しております。

エ ふりふりバター体験事業

こちらは10月19日（火）天神小学校にて実施しまして市内小学校において、市内で搾乳された牛乳等を使用したバターづくり体験事業を実施し、市内畜産業への理解促進、地産地消及び食育の推進を図りました。

こちらは、ペットボトルを使用して子供たちにバターを実際に作ってもらう事業になります。

オ 市役所本庁舎等における花きのPR

こちらは8月と12月に市役所本庁舎等において、季節の藤沢産花きを展示し、コロナ禍の影響を受けている花きのPRを行いました。

カ PR用動画の作成

こちらは、藤沢産農水産物を紹介するPR動画作成し、藤沢産農水産物への理解を深めてもらい、地産地消の推進を図るものです。2月3月で作成する予定です。

3、地産地消実行委員会の予算を伴わない事業については、時間の都合上割愛させていただきます。資料をご参照いただければと思います。

次に資料7-1になります。

令和3年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会収支予算書本日時点の執行状況になります。資料の上の部分に収入の部下の部分に支出の部が掲載されております。

それぞれ項目、予算、執行状況、差引増減、備考が掲載されております。

こちら収入の部合計額が、170 予算 176 万 5136 円に対しまして、執行状況 177 万 7227 円。差し引き増減 1 万 2091 円となっております。

支出の部につきまして、合計額が予算 176 万 5136 円に対して、執行状況が 84 万 4 万 5233 円。差し引き増減が 91 万 9903 円となっております。

支出の部で未執行額につきましては、地産地消イベント事業みなど春まつり藤沢産をまるごといただきます。

こちらが 3 月 23、3 月 13 日を予定しております。

また藤沢産利用推進店 PR 用食べ歩きマップ作成費ということで、こちらも 2 月に作成を予定しております。また、PR 用動画作成費こちらも 2 月 3 月で作成をする予定でございます。

こちら資料 7-2 令和 3 年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会収支予算内訳と、一緒にご参照して、確認していただければと思います。

次に、皆様のお手元のデザイン案をお配りしました。

こちらは、今回 JA さがみ藤沢市果樹部会と連携して藤沢産のロゴマークと QR コードが入ったダンボールを地産地消 PR のため作成してまいりたいと考えております。金額は 20 万円ほどでございますが予備費と未執行の額を充てさせていただければと考えております。事務局からは以上です。

北委員長

はい、ありがとうございました。具体的な実施計画ととらえていただければと思いますが、資料の中でご質問ございますでしょうか。佐藤委員どうぞ。

佐藤委員

資料の中で 2 月 3 月に作成する PR 動画の作成とありますが、市民の皆様への提供方法はどのように考えていますか。

事務局
(福岡)

こちらはですね、YouTube で作成を考えておりまして、市の公式ホームページに載せるのと、あと藤沢産ホームページに掲載することを考えております。

北委員長	市のホームページと協議会のホームページに掲載ですか。
事務局 (福岡) 北会長	はい。 佐藤委員よろしいでしょうか。他にはいかがでしょうか。 はい、林委員どうぞ。
林委員	2の(2)のイ藤沢産ロゴマークシールQRコード付きの作成 というところでホームページがリニューアルされて、いろいろと ニュースが日々更新されていていいことだなと思っているんですけ ども、具体的に閲覧数だとか、そういったデータはなんかはどう でしょうか。
事務局 (福岡)	当初出来上がったときにはページビュー数は、8000ビューほど上 がりまして、それから12月に入りまして、かなり下がってしまった んですが、今後こういったダンボールとか、そういった農水産物 とかの方にこういったものをつけていただいて、ページビュー 数が上がるようにしてまいりたいと考えています。
北委員長	林委員いかがでしょうか。
林委員	はい、ありがとうございます。そうするとあまり伸びていないと いう状況ですか。
事務局 (安部川)	チラシ等を作成してイベントとか開催されたときに周知をし たりとかっていうことでPRはしてたんですがなかなか今現状とし て閲覧数が伸びてない状況になっております。その中でですね、 藤沢産ロゴマークシールにQRコードをこういう形で印刷して、農 作物の方にだったり水産物だったりそういったものに貼って いただくことで、見ていただく機会を増やそうということで今新 たな取り組みとして行っているところになります。 こちらにつきましては、シールにつけたQRコードから閲覧をして いただいた場合については別でちょっとカウントが集計できる

ようには、今していただいているところになりますので今後、シールにですねQRコードを貼ったことによるPR効果がどれくらいあったのかっていうのは検証できるかなとは思っておりますので、まだまだ作成して今配って配布しているところになりますので、まだこの閲覧数がどれくらいっていうのは把握できていないんですが、今後しっかり把握してPRはしていきたいと考えております。

林委員

ありがとうございます。よくサイトを見るんですが、メールマガジンの登録数なども気になっております。

そんな中で、過去のメールマガジンのサンプルが2020年の8月のサンプルなので少し古いと思いますので、新しいものにしていただけたらと思いました。やはりホームページなので動いていないと思われるのがよくないと思います。

もう1点4ページエのふりふりバター体験事業ですが、こちらの小学校はどのように選ばれた小学校のかというところと、実際何人ぐらいが体験したイベントになるのか。実際この小学校のホームページを検索させていただいたのですが、食育にすごく力を入れている小学校なのかなと想像していたのですが、ホームページの更新がされていなくて、2021年1月の献立が掲載されていて、毎月更新されていてもいいのかなと思いました。せっかくふりふりバター体験事業に選ばれたのなら、一時的にイベントみたいな形ではなく、ずっと目が行き届くものになっていくものにならなくてはという意見です。

北委員長

もう少し実効性のあるものにしてほしいご意見ですか。

林委員

はい。

北委員長

事務局のほういかがでしょうか。

事務局
(安部川)

はい。まずですね、メールマガジンの登録者数につきましては、令和2年度末で4635人ということになっております。サンプルのところ古いものになってしまってるというところにつきましては、すいません、早急に見直しの方はさせていただきたいと考えております。あと、ふりふりバター体験のですね、学校がどのように選ばれたのかというところにつきましてはこちらにつきましてはですね。畜産のやまゆりポークの生産者協議会というのがございまして、やまゆりポークを生産している協議会なんですけど、そこがですね、毎年市内の学校に市内の学校1校に豚肉を寄贈していただいております。

それと合わせて県の技術センターの方とかがお越しいたいて、畜産の授業をしていただいているんですが、フリフリバター体験につきましては、それとあわせて、その学校で実施をしているというものになります。寄贈する学校をどこにするかっていうところにつきましては、学校給食課のほうと相談をして、毎年違う学校を選らばさせていただいてるという状況になっております。

ちょっとそのですねすいません学校の献立が古いものになってしまっているというところにつきましては、学校の方に投げかけはさせていただければと思います。栄養士自体はすごい熱心な方で、今回のこういうバター体験だったり、そういったものにはすごい協力的な方ではありますので、献立あと、このフリフリバター体験だったりとか畜産の授業をやったことっていうのは、きちっと給食だよりの方には載せていただいて、家庭の方に周知をしていただいている状況にありますので、そういったところをしっかりと活用してご家庭の方にもですね、地元のものがこういうふうに使われてるんだということを、今後につきましても学校給食課と連携してPRしていければなと思いますので、よろしく願いいたします。

北委員長 よろしいですか。

林委員 ありがとうございます。
ユーチューブですが、具体的にどういったものを作られるのか気になっています。

事務局 (福岡) はい。こちらはですね、市役所本庁舎において
サンセットマルシェというものが、水曜日と金曜日に行っております。そちらの動画を作成しております、さらなる地産地消の推進を図っていきたいと思います。

林委員 ありがとうございます。最後にもう一つよろしいでしょうか。
6ページ目なんですけど、イ農水産物ふれあい交流イベントの開催で市の関係団体が実施ということで、直接予算とはかかわらない部分があると思うんですけども。3の(ア)(イ)と合わせてですけど、どこまで情報共有してもらえるかわからないんですけども、こういうイベント応募制でされると思うんですけど、どれぐらいの応募があって、応募イコール人気、興味がある。
そういうイベントなのかなという認識なんですけれども、そういったもの集計も共有しているのであれば、定例のイベントもちろんOKだと思うんですけども、やまゆりポークとタイアップでも、いいのですがそういったところでの連動はしていますか。

事務局 (安部川) 6ページのところ、でよろしいですか。
口座の口座開設しません実施した講座ということで地産地消
口座地産地消しません栽培収穫体験型講座と、収穫体験型講座
というのが、記載させていただいてるんですけど、まず両方ともですね市が主催で、こちらの二つについては実施しているものとな

ります。栽培収穫体験型講座というのは、大豆をですね、土作りから種まきして除草して、枝豆を収穫して最後に大豆を収穫するというものになります。本来であればこの名前はですね、それを収穫した大豆を使って、味噌作りだったりとか豆腐作りというものを実施していたんですが、なかなかこういうコロナ禍で調理室を使うというのができませんので、調理の部分は除いて、今回につきましては大豆の収穫までするというところまでを実施いたしました。こちらにつきましても例年、20人から30人ぐらいの応募の方がいらっしやいましてご参加をしていただけるという状況になっております。地産地消講座の方につきましては、こちらですね、今までは収穫したものを調理するっていうところまでやっていたんですが、なかなかこういうコロナ禍で、調理するのは難しいので、収穫をメインという形で実施をさせていただいております。そうしましたら今年度7月22日にですね、トマトとトウモロコシの収穫体験あったんですが、こちらは全員20名に対して600人近いものがありました実際には農家の方と調整して60人ぐらいの方に参加をしていただいたという状況なんです、10月の方につきましては、柿とリンゴの収穫体験ということで、こちらは1200人近い応募があったという状況です。こちらはちょっとリンゴの状況とかから20人しか参加ができなかったということになってしまうんですが、かなりの今回こういうコロナ禍で応募いただいたということがありますので、来年度につきましては予算を増額して、収穫体験をする機会を増やしていきたいということで市の方は考えております。あくまで予算につきましては、2月の市議会の方で、計上させていただいて承認を得られたら増額して、こういう収穫をする機会を増やしていきたいが、体験していただく機会を増やしていきたいなというところで考えているところでございます。今後につきましてもですね、実施した内

容につきましては、協議会の中で、ご報告等をさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

北委員長 林委員よろしいでしょうか。

林委員 はい、ありがとうございます。

北委員長 私からひとつよろしいでしょうか。
この協議会との事業とのすみ分けはどのようにしたらいいでしょうか。

事務局 (安部川) なかなか市と協議会っていうところですみ分けが難しいところもありますが継続してやっていくようなものについては市の方の予算で計上させていただいて、実行委員会につきましては計画の中で、新たな取り組みだったりとか委員の皆様からご意見をいただいた内容とかそういったものを実行する形の中で今すみ分けをさせていただいているところにはなります。

北委員長 はい、わかりました。フレキシブルに対応するのは協議会あと皆様も気になっているとはおもいますが進捗状況をのせるときに具体的な数字を記載していただけたらと思います。

事務局 (安部川) はいすいません。次回以降実績を上げさせていただくときには参加者等の状況についても記載の方をさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

北委員長 他にいかがでしょうか。
3月にいろいろイベントを予定していますが、もしできなくて予

算が残ってしまった場合は、市に返還するのでしょうか。

事務局
(安部川) すいません、最終的にもし事業が予定していた事業が実施できなくて、予算が残ってしまった場合については市の方に返還をしていくような形になるかとは思いますが、もしですね状況によってみなと春まつりの方が開催できないということであれば、昨年度もPRグッズみたいなのをちょっと作成させていただきましたので、今回につきましてもそういったものを作成するような形で進めさせていただければと思います。こちらにつきましては本当にコロナの状況でイベントが開催できるかできないかというところはありますので、状況を見て早めに判断した中で違うものに切り替えていくことも考えていければと思いますので、よろしく願いいたします。

北委員長 それに対して、今ご意見を聞いたらいかがでしょうか。

事務局
(安部川) はい。もし、そうですね。イベントが実施できるのであれば、先ほどご説明させていただいた通り物販を中心メインとして事業の方は実施していきたいということなんですけど、もしコロナの状況で物販すらちょっと開催ができないようであれば、PRグッズあと、今回作成させていただきました3ページのですね、PR用ミニのぼり旗、こちらは量販店等に置いていただいて藤沢産をPRするというものなんですけど、まだ十分にちょっと量が数が足りてないというところもありますので、できればこういったものの作成に充てさせていただければと考えております。

北委員長 はい。提案ありましたけれども、今みなと春まつりが中止になった場合の予算の流用・代替事業についてはいかがでしょうか。

湯澤委員	そのイベントが中止になった場合の予算の取り扱いだと思うのですけれども、その中でも、例えば学校給食に農産物を供給するというので、結果をそれが使い方が合ってるかは別にして、そういうところにも、例えば去年のはるみや農産物なんかも提供されているのですけれども、そこでちょっと量を増やすとかっていう使い方とか、そういう方向をちょっと変えてみる使い方はいかがでしょうか。
北委員長	事務局いかがでしょうか。
事務局 (安部川)	予算の使い方の一つとしては今湯澤委員がおっしゃったような使い方もあるかとは思いますが、どうしても事業の会計の考え方が3月末までに予算を使わなくてはならないということがありますので、学校と保育園等そういう形で藤沢産のものを供給していくっていったときに、調整がつくようであればそういった使い方も一つとして考えられるかなと思いますので、そこについては学校側と保育園側とも調整をさせていただければと思います。
北委員長	たしかにメニューの変更は1カ月か2カ月くらい前とか。
事務局 (安部川)	そうですねかなり1ヶ月以上前とかになってしまうのでそこで予算が余って、藤沢産のものをっと言ってもなかなかすぐに切り替えができなかったりするものもありますので、そこについては検討させていただければと思います。
事務局 (安部川)	湯澤委員よろしいでしょうか。
湯澤委員	はい。

北委員長

他にいかがでしょうか。よろしければ議題はすべて終了となりますが、それでは以上をもちまして本日の議題はすべて終了いたしました。皆様のご協力により、会議が円滑に進行できましたことをお礼申し上げます。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

事務局
(安部川)

ありがとうございました。最後にですね、中山経済部長および挨拶いたします。

中山部長

皆様、長時間にわたりましてご審議をいただきましてありがとうございました。議題の中に出てまいりましたの第5部の地産地消推進計画は、スケジュールの中でご紹介させていただきましたとおり、今後2月の市議会の建設経済常任委員会で、最終報告をさせていただきます。そこでまたご意見をいただいた元に微修正をさせていただきます。3月に開催させていただく協議会で確定ということで、4月からそれに基づいて地産地消推進計画を実行していきたいと考えています。

また最後にご意見ありましたイベント等ですけれども、ご指摘いただいた通り、いろんなイベントでまたコロナの関係で、状況が変わってきて、毎週水曜日金曜日に、この役所でやっているマルシェなども、やはり地元の方、役所の近所だとか、役所に来る市民の方に大変高評価が良くてですね、固定客がついて大変評判を得ております。また先ほどいろんな体験講座の話も出ましたけれどもコロナ禍であって屋外で人が多いので、そういった意味では少し安心感があって、応募者が多数になってもございますので、あの冒頭会長からもお話があったポストコロナ、ウィズコロナ状況がいろいろございますけれども、あの地産地消の面でもいろいろと変わってきているなという感じがしておりますので、いずれ

にしましてもこの元になるのは、今日ご審議いただきましたこの地産地消推進計画でございますので、いろんな面でこれを基にしっかりと事業をやっていくことが地産地消の推進に寄与することだと思います。今後ともどうぞ皆様にご協力、ご意見をいただきたいと思ひます。本日は長時間にわたりましてありがとうございます。

事務局
(安部川)

それでは、以上をもちまして令和3年度第2回藤沢市地産地消推進事業実行委員会を閉会といたします。

また、次の協議会及び実行委員会の予定ですが、3月24日(木)を予定しております。詳細な通知をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

なお、本日、事務局でご用意させていただきました藤沢市地産地消推進計画、右上に会議用のテプラが貼ってあるものにつきましては、返却となりますので、机の上にそのまま置いておいていただきますようお願いいたします。

本日は、長時間に渡りありがとうございます。

以 上

